

アンケート調査結果報告書まとめ

* 小諸市で活動をしているボランティア団体やサークル活動団体、市民活動団体は、ある程度今の活動範囲の中で（満足はしていないまでも）足りているのだと感じました。ただ、資金・人材（継承）の面で行き詰まり感はあるのだと思います。

自治基本条例の中でも謳われているように、市民活動団体等が、これからの小諸市を担う主体となっていくためには、行政・市民・活動団体が、手を取り合うための仕組みが必要になってくると思います。まずは、その手を取り合うための仕組みであるところの「拠点」が、「人」「情報」「場所」の拠点として、みなさんに認知してもらうことから始めていかなければと感じました。「こういうことができる」「こうすれば活動が広がる」等の働きかけを積極的に行っていくことで知ってもらい、より良い活動、より良い事業の継続につなげていくことができればいいのではないかと思います。

* 市民協働とは何なのか、実現するためにはどうしたらいいのか、それを学びたいと思い参加しました。

市内の各種団体へのアンケートを通して、市民のみなさんの活動の様子を知る事が出来ましたが、それを繋げて、市民協働という形に持っていくまでには、まだ課題が多いと実感しました。

まずは知ること、そして考えることが第一歩になるのではと思います。今回の報告書がそのきっかけの一つになったら幸いです。

* 小諸市においても、NPOやボランティア活動などの市民活動が活発に行われています。そういった活動をしているみなさんが、どんなことに困り、どんな課題を抱えているのか、そしてどんな支援があったらいいのかを知るためにこのアンケート調査を実施しました。ご協力ありがとうございました。

皆さんから聞かせていただいた声を基に、市民活動を支援、推進していくために必要なことは何なのかを考え、集しやすい「市民活動の拠点」を目指していきたいと思います。

